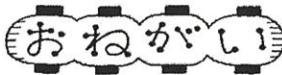


7月園だより

梅雨に入り、毎日ジメジメした日が続いていますが、関東方面では、命にかかるほどの猛暑が続いています。今年の夏は、暑くて長いようですので、体調管理に十分配慮しながら、夏の遊びを存分に味わえるようにしていきたいと思います。

今月もよろしくお願いします。



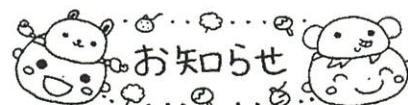
※給食用のおしぶり・エプロンが黒ずんできていませんか。

この時期、少し油断すると色々な持ち物にカビが生えることがあります。お子さんの持ち物は清潔にして持たせてください。

※暑い日やジメジメした日が続くと、子どもたちの体力も消耗します。お家の方がお休みの時は、無理をせずゆっくりお休みさせてください。

※汗をかいたり、水遊びなども始まったりします。着替えの持ち帰りが多くなります。必ず補充をお願いします。

※今年度も、風除室に子どもたちの保育の様子や行事等の様子を紹介するために写真を掲載しますが、個人写真ではなく、クラス全体や行事全体を映したものになりますので、お子さんが写っていない場合もあります。ご了承下さい。



※昨年より、育児休暇のためお休みしていた近藤陽子先生が、7月11日より復帰します。りす組の担当で保育を行っていきますので、よろしくお願いいたします。



クラスのようす

0歳児 「暑さに負けないぞ！！」

急な暑さから、疲れが見られる子どもたち。発熱や鼻水などの風邪症状が続いているが、元気いっぱい体を動かしたり、モリモリ給食を食べたりする姿に成長と逞しさを感じています。

これから夏本番に向けて、生活リズムや体調を整えていきたいと思います。ご家庭でもお休みの日は、ゆっくり家族団らんを楽しみパワーチャージしてください。

1歳児

雨が多くジメジメしている日でも、子どもたちは元気いっぱい汗をかいて遊んでいます。最近は、生活の流れがわかり、食事の前には手を洗い、自分で椅子に座っています。給食時は、給食袋からエプロンを出し、首にかけようとしたりフォークやスプーンを使って食べようしたり頑張る姿が多くなりました。オムツ交換時は、引き出しからオムツを取り出し「ズボン脱いでね」と声をかけると一生懸命おろそうとしています。できない所は少し手をかけてあげると、できることが多くなってきました。

「すごごいね」「できたね」「上手になったね」の励ましの言葉が大好きですよ。

2歳児 <あめふりだいすき！>

天気の悪い日が続いているが、子どもたちは雨も大好き。「カエルさんいるかな？」「カタツムリもいるよね。」と可愛いお話を聞こえます。窓を開けて、雨音を聞いたりテラスに出て雨粒に触れてみたりと雨の日にしかできないことをたくさん楽しんでいます。もう少し続くこの天気をいろいろな楽しみ方で過ごしていきたいと思っています。そして、梅雨が明けると夏はもうすぐそこ。夏の楽しい遊びも計画中です。

令和4年6月30日
学校法人 明正学園
さかき保育園



- 7日（水）七夕集会
- 12日（水）発育測定
- 13日（水）避難訓練
*不審者対応
- 21日（木）なかよしランド
- 28日（木）誕生会
- 30日（土）夏祭り

7月生まれのおともだち

1歳 7日 北林 奈生（なお）ちゃん
26日 佐藤 碧音（あおと）くん
(新入園児 11日入園)

2歳 19日 シバコチ アハナちゃん
26日 工藤 恵（れん）くん

3歳 28日 亀田 未羽（みう）ちゃん



おめでとうございます



夏を元気に過ごすポイント

① なんでも食べて夏バテ知らず

多くの食品を摂るようにしましょう

② めたいものはほどほどに

冷たいものを摂りすぎると、お腹を壊したり糖分の摂りすぎになります。

③ むなら麦茶か水、牛乳を

熱中症対策のためにも水分補給は、大切です。糖分の多いジュースなどは避けて、水やお茶類、牛乳が良いでしょう

④ ぼう、塩分の摂り過ぎに注意

スナック菓子などを食べ過ぎないようにしましょう。



⑤ よくかんで食べましょう

よく噛んで食べると、胃に良いだけでなく、食べ過ぎも防げます。

⑥ だもの、野菜を食べましょう

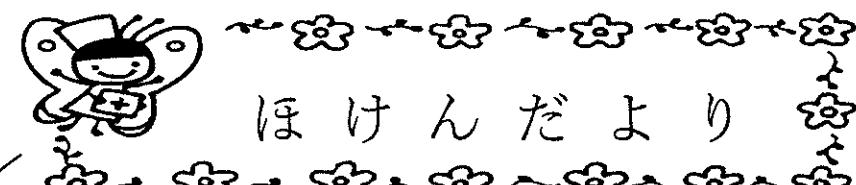
体の調子を整える、ビタミン、ミネラル、食物繊維を豊富に含んでいます。

⑦ かんを決めて、一日三食+おやつ

朝、昼、晩の三食はきちんと食べ、足りない栄養をおやつで補いましょう。

7月7日（木）は、クッキング「七夕ゼリー作り」です。

給食の献立にも、色とりどりの食材を使った七夕そうめんなどを提供します。デザートの「七夕ゼリー」をうさぎ組・こあら組の子どもたちは、自分でトッピングをして楽しみたいと思います。



かゆみのある湿疹は

「とびひ」かも

虫刺されや湿疹などで、傷ついた肌を汚れた爪で搔くと、傷口に細菌が感染して「とびひ（伝染性膿痂疹）」になります。膿をもったような水泡ができ、強いかゆみがでます。かゆいからといって搔くと、水泡が破れて中の液がついたところに、とびひがどんどん広がってしまいます。水泡を見つけたら、爪で搔かないようにガーゼで覆い、早めの受診をお願いします。また、爪をこまめに切っておくことも「とびひ」の予防になります。

《お願い》

虫よけシール・虫パッチを使用しての登園はしないでください。蚊に刺されないように・・・、刺された跡を搔いてしまわないようにと虫よけパッチや虫パッチなどを使用しているご家庭もあるかと思います。万が一保育中にはがれてしまったものを拾って口に入れてしまう可能性があります。事故防止のためにも登園するときは、虫よけパッチ虫パッチの使用を控えてくださいよう、ご理解・ご協力をお願いします。